

廖承志研究会第四回研究会

日時：2011年12月26日（14：00～17：00）

場所：香川大学幸町キャンパス南6号館会議室

研究報告：

王雪萍（東京大学）

「廖承志と中国外交部—元中国外交部中国科長丁民氏へのインタビューを中心に—」

大澤武司（熊本学園大学）

「廖承志と中国の民間外交—北京中国外交部調査報告を中心に—」

山影統（早稲田大学）

「廖承志と日中経済関係 — 「日中貿易促進議員連盟資料集」を手がかりに—」

コメンテーター：井上正也（香川大学）、杉浦康之（防衛研究所）

報告内容：

研究プロジェクトメンバーより研究報告がおこなわれた。まず、王氏より元中国外交部日本処副処長の丁民氏に対するインタビューの中間報告がおこなわれた。そこで特に1963年から文革期そして日中国交正常化までの中国の対日政策決定過程について貴重な情報が報告された。次いで大澤氏により、中国の対日民間外交における外交部調査の中間報告がなされた。また、山影氏より、廖承志と日中経済関係として、基本資料として『日中貿易促進議員連盟資料集』を用いた報告がなされた。

報告後、コメンテーターの井上氏より日中関係に関するコメント及び資料紹介がなされた。また、杉山氏からは日中関係全体における廖承志の位置づけ、そして「システム」としての廖承志集団の意味などが提起された。